

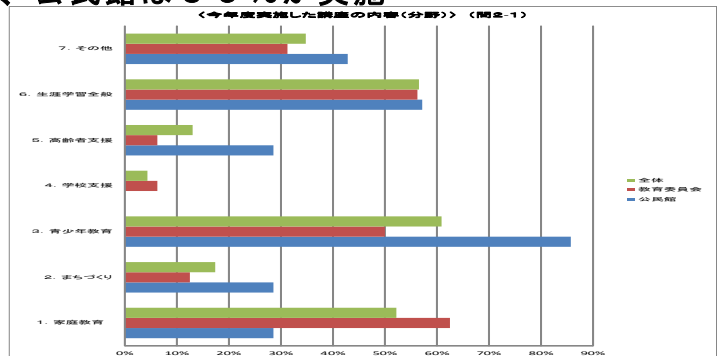
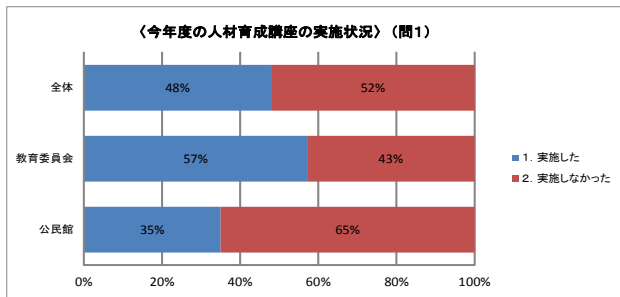
平成26年度生涯学習基礎調査 調査結果概要(ダイジェスト版)
 「生涯学習・社会教育における人材育成についての実態調査(市町村教育委員会・公民館)」

○実施機関：群馬県生涯学習センター
 ○調査期間：平成27年1月～2月

○配付数:66(回答数:48・回収率:73%)
 ・各市町村教育委員会:28/35
 ・各市町村の代表公民館(4町村を除く):20/31

東日本大震災以降、地域の絆が再認識され、地域の活性化に向けた特色ある地域づくりの取組が数多く展開されています。地域づくりには地域の多様な人材が不可欠であり、それ故、地域における人材育成は生涯学習・社会教育の中の大きな要素であると言えます。
 また、県では平成26年3月の第2期群馬県教育振興基本計画に「地域の教育力の向上と生涯学習社会の構築」を基本施策のひとつに掲げ、その中の取組の柱16として「社会教育を推進し地域の教育力を高める」を、取組36として「地域の学びを支える人材づくり」を挙げ、地域における人材育成の大切さを示しています。
 そこで、本調査は、市町村での生涯学習・社会教育における人材育成に関する講座(以下「人材育成講座」という)についての実施状況や取組内容等を調査し、調査結果を全県に発信するとともに群馬県生涯学習センターがとるべき市町村支援の在り方を探ることを目的として実施します。
 なお、本調査の詳細は当センターホームページをご覧ください。

□今年度の人材育成講座の実施状況は？【問1】
全体では48%、教育委員会は57%、公民館は35%が実施



□今年度実施した講座の内容(分野)は？【問2-1】
全体では「青少年教育」61%、教育委員会は「家庭教育」63%、公民館は「青少年教育」86%が最多

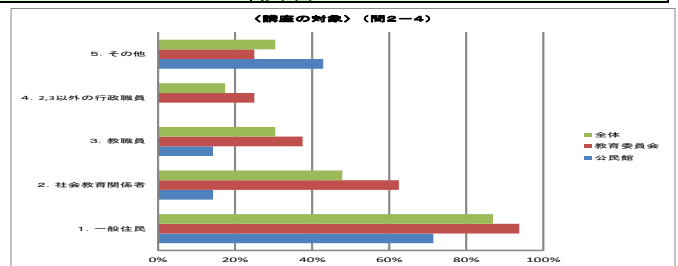
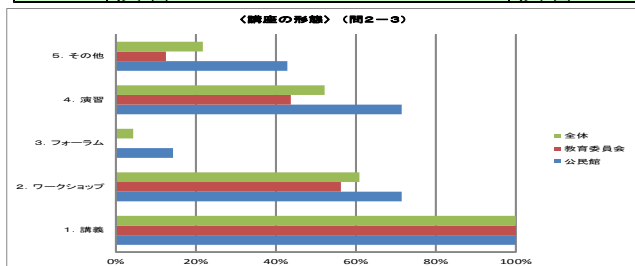
順位	教育委員会	公民館	全体
1	家庭教育 : 63%	青少年教育 : 86%	青少年教育 : 61%
2	生涯学習全般 : 56%	生涯学習全般 : 57%	生涯学習全般 : 57%
3	青少年教育 : 50%	家庭教育/まちづくり/高齢者支援 : 29%	家庭教育 : 52%

□講座の数と日数は？【問2-2】
全体では講座数244、延べ日数854

	教育委員会	公民館	全体
講座数	182	62	244
延べ日数	331	523	854

□講座の形態は？【問2-3】
「講義」が100%

順位	教育委員会	公民館	全体
1	講義 : 100%	講義 : 100%	講義 : 100%
2	ワークショップ : 56%	ワークショップ : 71%	ワークショップ : 61%
3	演習 : 44%	演習 : 71%	演習 : 52%



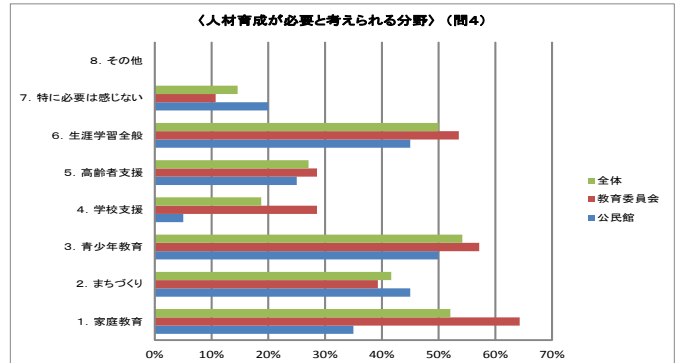
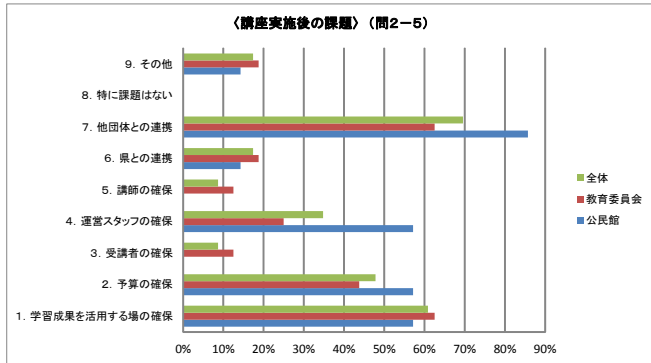
□講座の対象は？【問2-4】
「一般住民」が最多

順位	教育委員会	公民館	全体
1	一般住民 : 94%	一般住民 : 71%	一般住民 : 87%
2	社会教育関係者 : 63%	社会教育関係者 : 14%	社会教育関係者 : 48%
3	教職員 : 38%	教職員 : 14%	教職員 : 30%

□ 講座実施後の課題は？【問2-5】

全体では「他団体との連携」、「学習成果を活用する場の確保」、「予算の確保」の順
 (講座実施後の課題 上位3項目) (問2-5より抜粋)

	教育委員会	公民館	全体
1	学習成果… : 63%	他団体との連携 : 86%	他団体との連携 : 70%
2	他団体との連携	学習成果…/予算の確保 : 57%	学習成果… : 61%
3	予算の確保 : 44%	/運営スタッフの確保	予算の確保 : 48%



□ 人材育成が必要と考えられる分野は？【問4】

全体では「青少年教育」54%、教育委員会は「家庭教育」64%、公民館は「青少年教育」50%が最多
 (人材育成が必要と考えられる分野 上位3項目) (問4より抜粋)

	教育委員会	公民館	全体
1	家庭教育 : 64%	青少年教育 : 50%	青少年教育 : 54%
2	青少年教育 : 57%	まちづくり : 45%	家庭教育 : 52%
3	生涯学習全般 : 54%	生涯学習全般 : 45%	生涯学習全般 : 50%

□ 県内の事例紹介 (【問3】の回答の中から事例を紹介します)

澁川市教育委員会主催「生涯学習推進指導者養成講座」(分野:生涯学習全般)

〈趣旨〉

澁川市の「地域の教育力を高める生涯学習活動」を推進するため、各地域で市民が主体的に行われている生涯学習活動を指導する人材を育成し、地域活動の実践をとおして特色ある地域づくりを図る。

〈開講までの経緯〉

澁川市生涯学習推進計画(平成25年1月策定)をもとに平成25年度に開講した。

〈対象者〉

社会教育関係団体等の指導者、自治会活動等の指導者、一般市民、社会教育関係職員から公募または選出する。

〈内容〉

- 生涯学習活動を推進する指導者としての資質を高めるために次の内容の講習・研修・実習を実施する。
 - ①生涯学習・社会教育の基礎知識講習
 - ②地域等の生涯学習活動の実践研修
 - ③生涯学習事業等の企画実習
- 2年の単位制(6単位/年)で講座修了者(全12単位取得者)を各地区での生涯学習推進指導者として認定し、生涯学習活動の地域推進役として活動を奨励する。

〈特色・工夫点〉

- 市内すべての地域で生涯学習活動を推進するためには、自治会に地域のコーディネーターが必要であるとのコンセプトのもと、自治会活動等の指導者の参加を募っている。
- 1年目は概論、2年目は実践的な内容が中心となっているが、受講者の実態やニーズに合わせて内容をアレンジしている。
- 修了者が活動できる場の設定やきっかけづくりまでを事務局がサポートしている。
- 社会教育関係職員として経験年数の少ない行政職員も受講可能であり、行政(公民館等)と自治会関係者・一般市民との横のつながりができ、修了後の活動への手助けにもなっている。
- 2年で修了できなかった受講者は翌年へ単位を持ち越すことが可能であり、受講者のペースに合わせてまた受講者の学びが生かされるシステムになっている。
- 講座の講師は、県や市町村の社会教育関係職員が中心で、現場の様子や最新情報等を受講者へ提供している。

〈人材活用〉

- 今年度末に1期生9名の受講者が修了し「生涯学習推進指導者」となった。修了者へのサポートのひとつとして、事務局が「地域課題対策チーム」の呼びかけを行い、公民館と連携しながらの活動を行う。



講座(座談会)の様子

まとめ

人材育成講座の実施について、約半数の機関で実施していることがわかった。講座の内容や対象を見ると、教育委員会と公民館では違いが見られ、特に講座の対象では、教育委員会では対象を広く人材育成を行っているのに対して、公民館は一般住民に限定した講座が多く、地域密着で人材育成を行っていることがわかった。課題については、「他団体との連携」「学習成果を活用する場の確保」が多い。これらの結果を受け、今後当センターでは、課題解決に向けた支援、先導的・先進的な事例提示、市町村とのプログラム共同作成など、生涯学習・社会教育における人材育成の充実にに向けた取組を行っていきたいと考える。